

		チェック項目	はい (%)	どちらとも いいない (%)	いいえ (%)	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	1	子どもの指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100			
	2	職員の配置数は適切であるか	100			基準を守って配置をしています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	60	40		トイレのバリアフリー、段差のある部分には、移動式のスロープを置いて、必要時に備えています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100			職員会議で改善点などを話し合い、改善に努めています。
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	80	20		評価表を基に、業務改善に努めています。
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	20		80	本年度開所したので、今回が初めての公開となります。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	60		40	第三者評価は行っていません。契約時も保護者さまに説明しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100			外部研修、内部研修を行っています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	80	20		保護者や関係機関からの聞き取りをしたり、アセスメントツールを活用するなどして、分析し、支援計画を作成しています。
適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100			多面的に状況を把握できるように、複数のアセスメントツールを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	80	20		大まかなプログラムは特定の職員が組み立てていますが、支援計画で取り組むべき課題等をプログラムに入れる必要があるため、職員同士で連携してプログラムを作成しています。
	12	活動プログラムが固定しないように工夫しているか	100			固定しないように毎日プログラムを作成している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	80	20		計画の中には休日利用の時に取り組む課題もありますので、漏れがないようにしています。また、どんな取り組みをするのか、全員が共有できるようにしています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100			

	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	80	20		利用児様が一日ご利用の時は、事前に全職員で集まったの打ち合わせは難しいですが、話しあったことを伝え、意見を聞くようにしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	100			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100			
	18	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100			定期的なモニタリングを行い、保護者と関係機関から情報提供をしていただきました。モニタリングごとに見なおしを行っています。
	19	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか。	80	20		ガイドラインに沿って、計画を立てています。
関係機関や保護者との連携・関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	80		20	担当者会議には、児童発達支援管理責任者が出席しています。児童発達支援管理責任者も療育に入っていますし、入っていないときは、記録やスタッフから聞き取りをして参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100			送迎時や関係機関との会議において、情報共有や連絡調整をしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		20	80	対象の利用者さまがいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	80	20		今年度は、就学前に利用されていた機関とは連携をとることはありませんでしたが、必要な時は、連携をしていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか		20	80	障害福祉サービス事業所へ移行する方がいませんでした。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100			発達障がい者支援センターに助言を頂き支援にあたりました。各種研修に参加しました。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	100			今年度は、中学生のボランティアに来てもらい、イベントを行いました。また、近隣保育所の遠足の中継地点として事業所を開放し、交流をしました。

	27	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	80	20		上益城圏域で行われる会議には参加していません。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100			連絡帳で日ごろからやり取りをしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対しての家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	80	20		保護者との面談等で必要な時は助言などを行っています。
保護者への説明責任等	30	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100			契約時、更新時に説明をしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100			相談したいときに申し出が出来るように、メールでの受付も行っていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			100	感染症拡大防止の観点から実施できませんでした。
	33	子どもや保護者からの相談、苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100			申し出があった時は、すぐに職員会議を行い、対応策を保護者に報告しました。
	34	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	80	20		ホームページのブログで活動内容などを載せています。行事等を行うときは案内の文書を発行しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	100			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100			面談や、電話、メールなどで意思疎通ができるようにしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	100			行事に地域住民を招待しました。野菜の栽培には地域の方に指導をしていただき、収穫までのフォローをしていただきました。。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	100			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	100			年に4回の避難訓練を行っています。 火災、地震、土砂災害、不審者侵入
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100			職員研修を行ったり、面談を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	100			保護者に説明し、支援計画に記載しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	80	20		アレルギーのお子様にご飯の提供を行っていません。

	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100			
--	----	----------------------------	-----	--	--	--